

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年11月27日 NO.1164

きらとみひこ
吉良富彦 です

事務所 新屋敷事務所 823-5878
 事務所 薊野事務所 846-2046
 事務所 県議会控室 823-9524

県内コロナ感染者数 保健所管内別に発表へ

●コロナの感染者数が全国的に増加傾向になっています。感染防止への情報提供として、各地域の感染状況を発表してほしいと県議会の共産党控室に電話がありました。

| 新規感染者 | 入院 |
|---|---------------------------|
| 151人 (累計109501人) | 54人 軽～中等症 53人 重症 1人 |
| 死亡 | 宿泊療養施設 |
| 3人 (累計321人) | 23人 |
| 年代別 | 病床占有率 |
| 10歳未満 13人 10代 28人 20代 17人 30代 26人 40代 23人 50代 19人 60代 11人 70代 6人 80代 5人 90歳以上 1人 | 15.2% |
| 保健所管内別 | |
| 高知市 53人 安芸 6人 中央東 1人 中央西 10人 須崎 13人 幡多 16人 陽性者フォローアップセンター 52人 | |

を公表してほしいと県議会の共産党控室に電話がありました。

丁度、開かれていた決算常任委員会で党県議団の委員となっている米田みのる県議がこ

高知新聞ではこの欄です。患者の居住地ではありません。

れを受けすぐさま、早急な毎日発表へと対策を求めました。増加傾向の中、急ぎ、県は決断。10日から全県の感染者数に加え、保健所管内別の感染者数を追加発表。そして、新聞公表は13日から始まりました。感染防止へ力を合わせましょう。

にひ参議員/清水前衆議員 市内各地域で演説会



●一カ月で3人もの大臣が辞任！物価高騰への無策、旧統一教会との癒着、国葬強行などで内閣支持率は30%を切り不支持が50%へ！政治を変えようと、はた愛市議、島崎やすおみ市議、藤木まゆみ市



議予定候補が揃って決意込めて挨拶！！

シンポジウム

「子どもが主人公の卒業式 ・学校づくりを考える」

「学校は子どもたちが主人公」いうことは、多くの人の思いであり、子どもたちの成長は、保護者のみならず地域や社会全体の願いです。これは教育をもって戦前戦中と戦争に協力させられたことの深い反省に立って制定された、日本国憲法や教育基本法の趣旨でもあります。特に、教育基本法はその目的を「人格の完成を目指し」としているのはその表れでもあります。

ところが、高知県議会では2021年の議会や今年の9月議会において卒業式の在り方にまで立ち入るような議論がなされています。例えば、「国旗は正面に掲げ、児童生徒はそれに対して正対すべきだ」という議論です。しかし、そのようなことは学校教育法には勿論、学習指導要領にも示されていません。にもかかわらず、教育長が私見としながらも議会で同趣旨の発言をするということは決して許されるものではありません。

私たちは、子どもたちが主人公の卒業式・学校づくりを進め、「子どもの学習権の保障」（北海道学予最高裁判決）をしていくためには、子どもたちを直接目の前にしている各学校の自主的権限、「教師の教育の自由」（同判決）が保障されることがなによりも重要だと考えます。子どもたちの成長を願い、子どもたちが主人公の卒業式・学校づくりを進めていくためにどのようなことが大切か、広く県民的な議論がなされるよう呼びかけます。

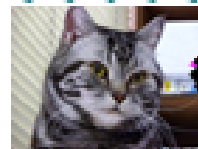
○日時 2022年12月3日(土) 午前9:45～12:00

○会場 高知市保健福祉センター 3F (高知市塩田町 18-10)

○講演 「子どもの学習権の保障と学校現場の主体的教育実践について」
講師 児玉 洋介 さん (東京総合教育センター所長 元東京都教職員組合執行委員長)

○パネルディスカッション 「子どもが主人公の卒業式・学校づくりを考える」

主催:子どもと教育を守る高知県連絡会(子連)・高知県民主教育研究所(民研)
【連絡先】 ☎088-822-4135 高知県教組内の子連事務局(石川)



ケウリン
にゃんでも通信

●9月県議会での教育長発言は学校現場の取組を否定し踏みこじるものではないかという声が上がっています。教育委員会など行政の声に教育内容が左右され決められると、学校は、子どもや教師はどうなるのか、この機会に共に学び合いたいと思います。ぜひご参加ください。